

Aグループ

エネルギー源

太陽光発電
現在の太陽光パネルが半分
大きさが半分に

高くてもバイオマスは国産に！

バイオ燃料が電力による空輸

電源100%再生可能エネルギー化(消費者の選択)

水素エネルギーにすべし！

行動を変えるための仕組み

0.00002%の人口という意識

武蔵野市だけじゃ世界は変わらない！

化石燃料重税が禁止(生産・消費ともに)

経済的インセンティブ

すべてのCO₂排出量の可視化

アプリなどで個人の意識改革

ごみ資源クリーンセンター発電

武蔵野クリーンセンター
①現在よりも3倍規模

ごみ⇒資源⇒発電

武蔵野クリーンセンター
②日本全体からの要望がかなりあった

働き方改革

イノベーションを創出すること
にのみ集中した働き方

家と家電をエコに

エアコン冷蔵庫見かけ小さい

百年住める家

住宅
Zero Energy House ZEH

人のつながりコミュニティ

人と人とのつながりのある町

子供と高齢者のつながりのある町

プラ削減・リサイクル

量り売りを増やしてプラスチック削減

すべてをシェア・リサイクル・アップサイクル

プラを燃やして発電する

自転車専用道

自転車道路を拡張

自転車専用道

緑のまち

緑の多い街

畑を増やして自給自足

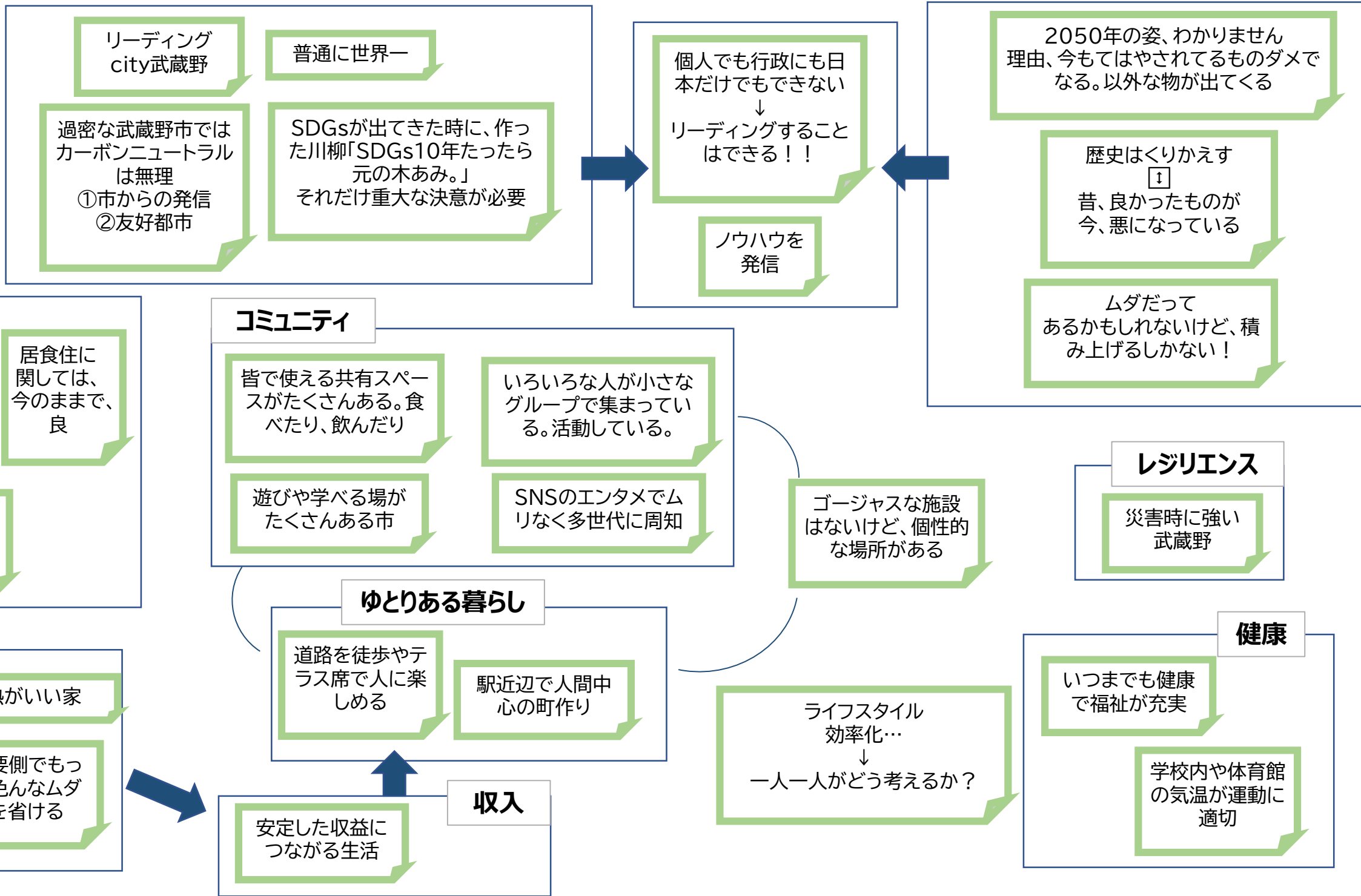
食を変える

Zero carbon
むだのない生活、
エネルギー食品・住宅・衣類

代替肉による食肉からの脱却

追加意見 (会議後アンケートより)

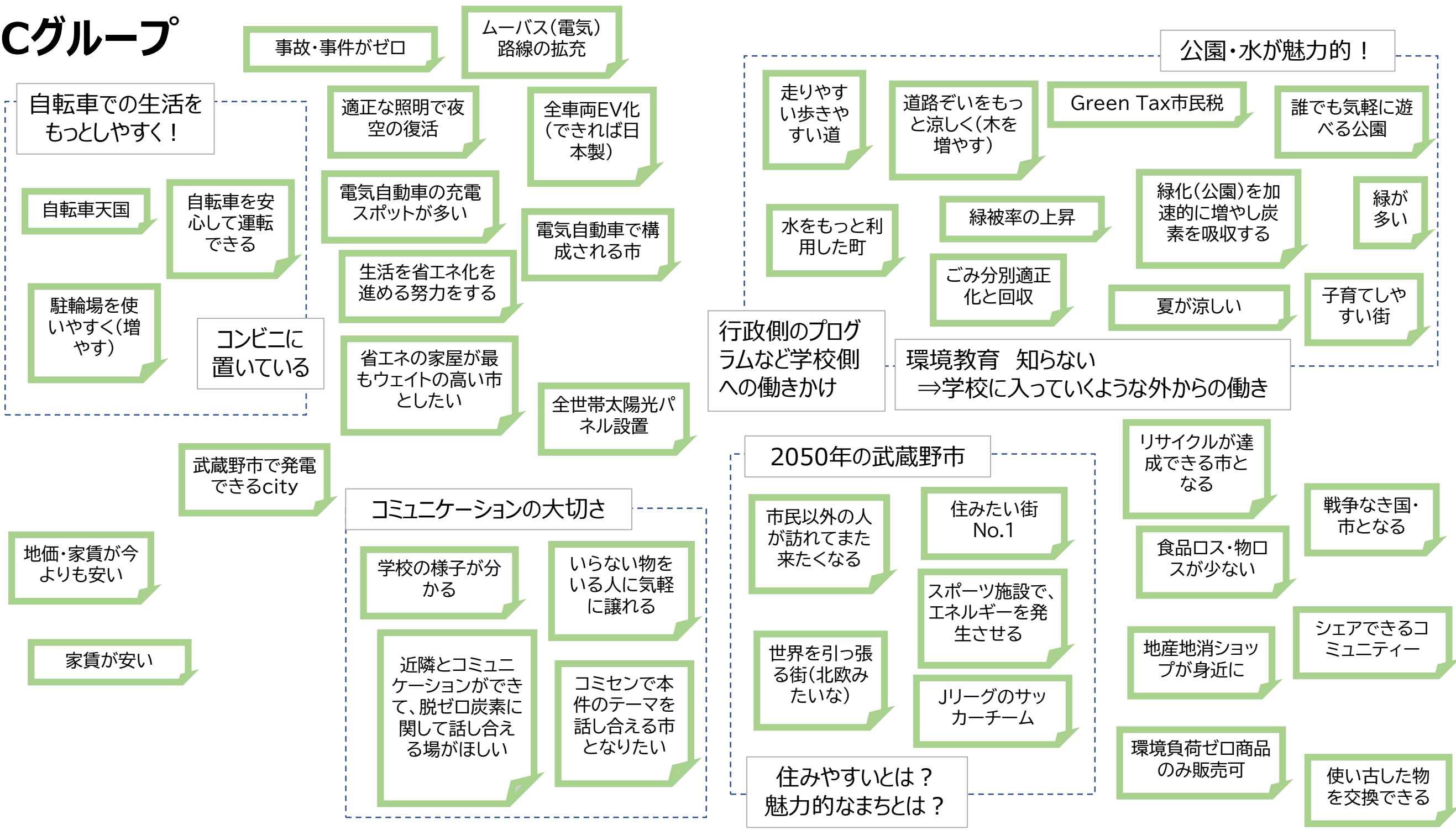
Bグループ



追加意見（会議後アンケートより）

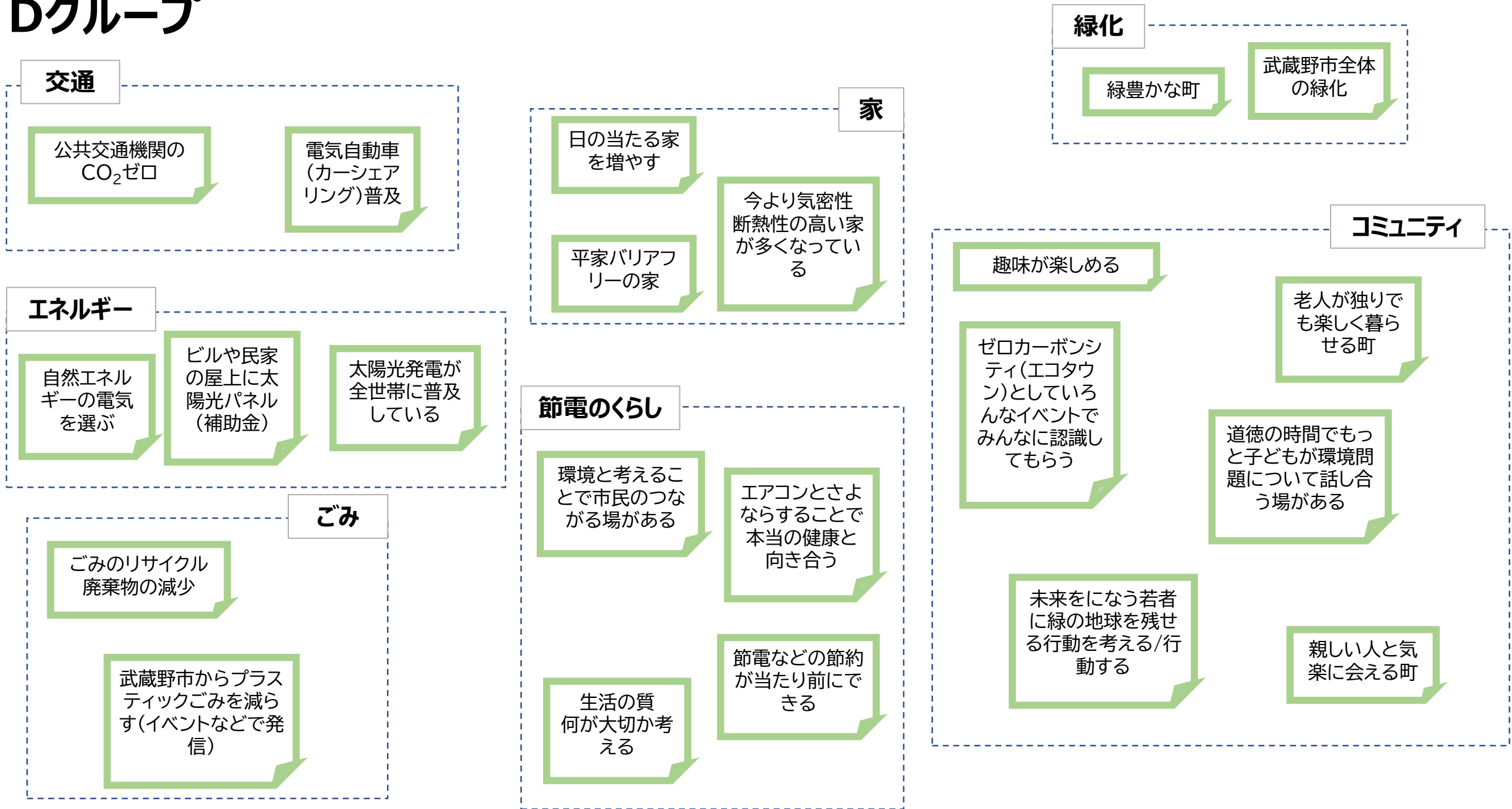
過去の環境の取り組みの検証が必要では

Cグループ



追加意見 (会議後アンケートより)

Dグループ



追加意見 (会議後アンケートより)

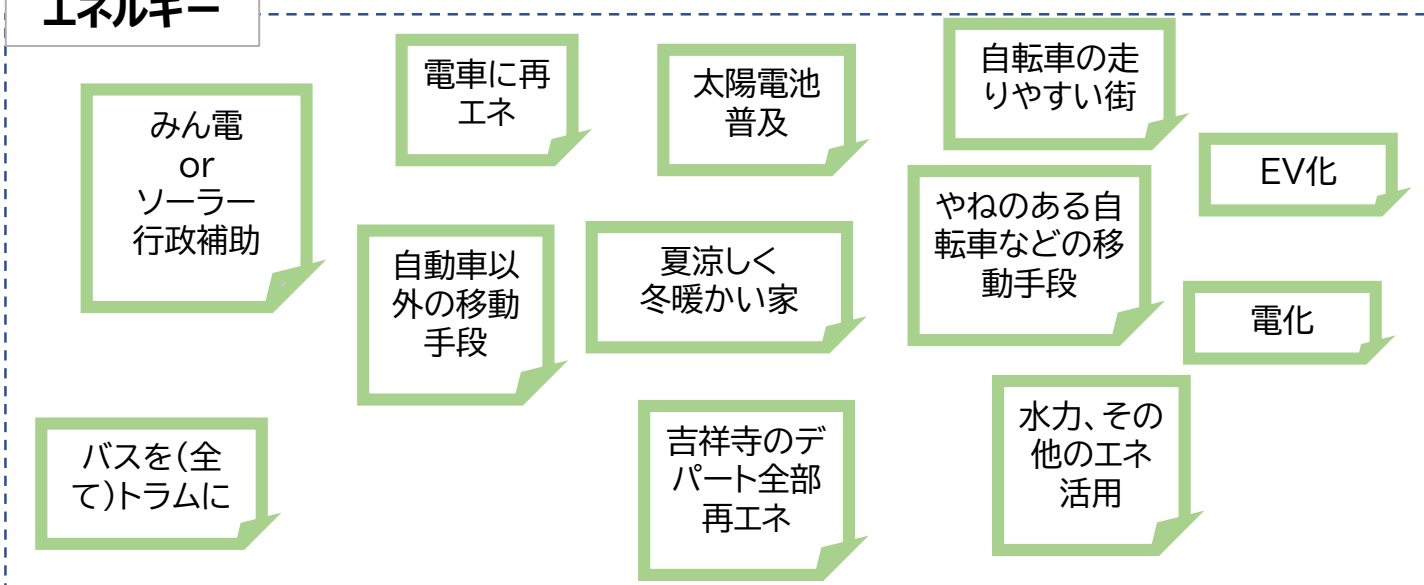
メディアやSNSなどを通じてゼロカーボンシティを目指す武蔵野市をどんどんアピールし発信して欲しい。

私たち(20代)のときには小学校での環境問題に対する授業が少ないように感じた。もっと道徳などの時間を使って討論する必要があると思う。

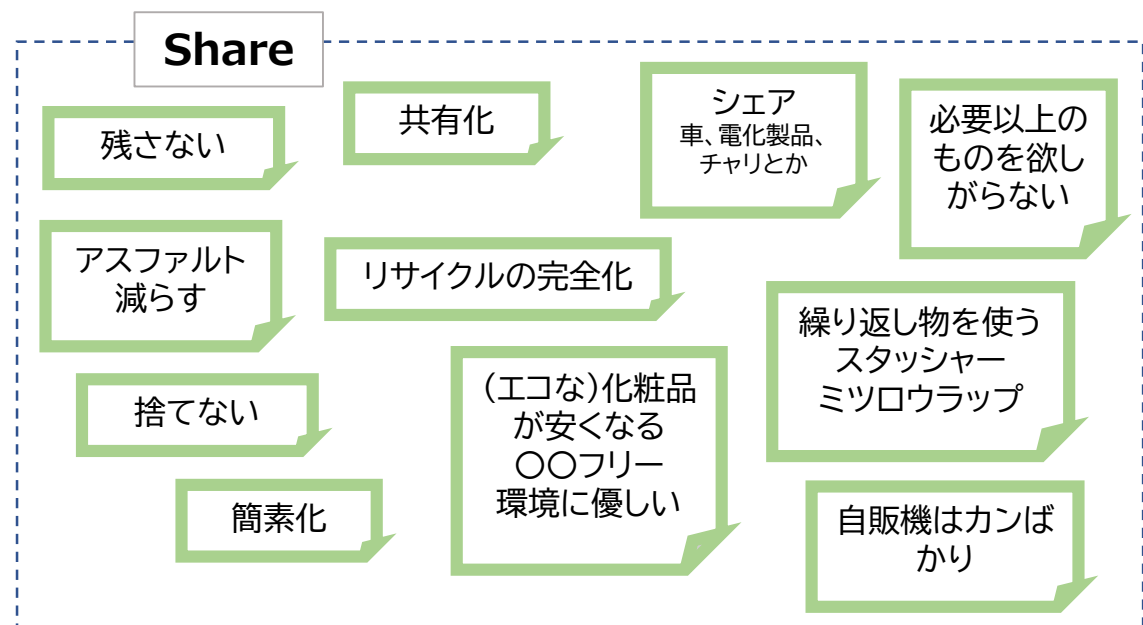
ジェンダーフリーの実現…自然エネルギーの電気を選びたくとも、家庭・社会で優位の男性の「安い方がいい」という意見が通ってしまうという現実が今はあるので。

Eグループ

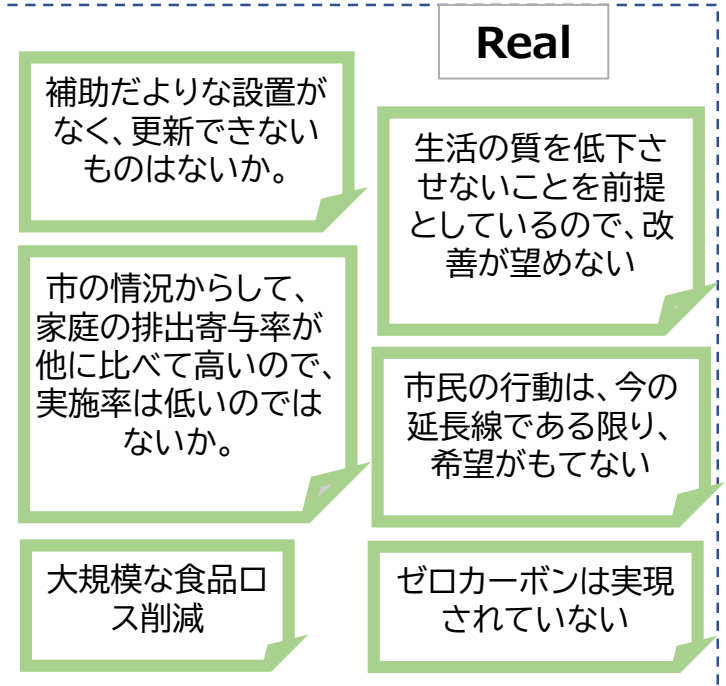
エネルギー



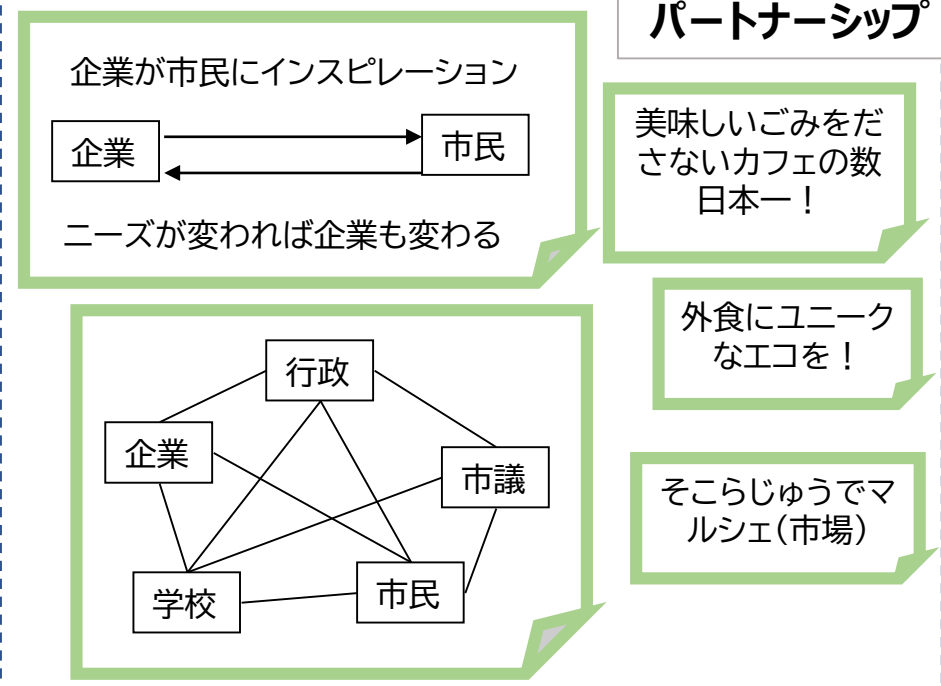
Share



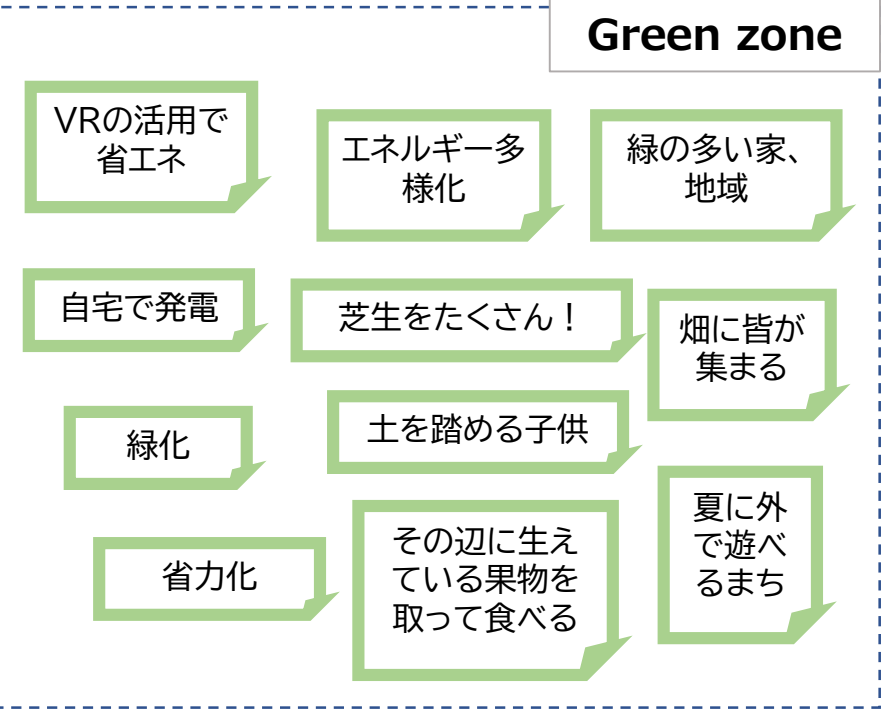
Real



パートナーシップ

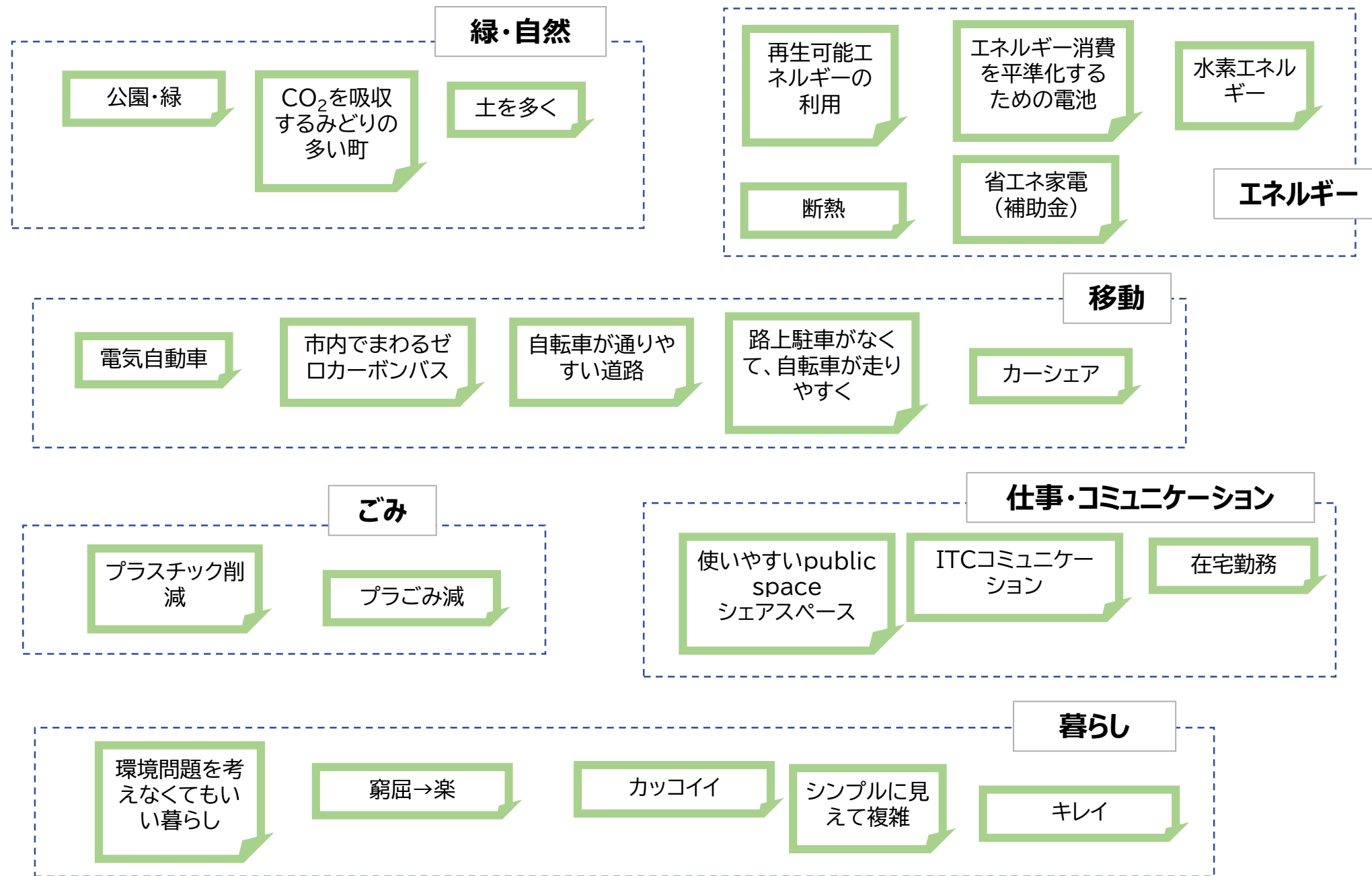


Green zone



追加意見 (会議後アンケートより)

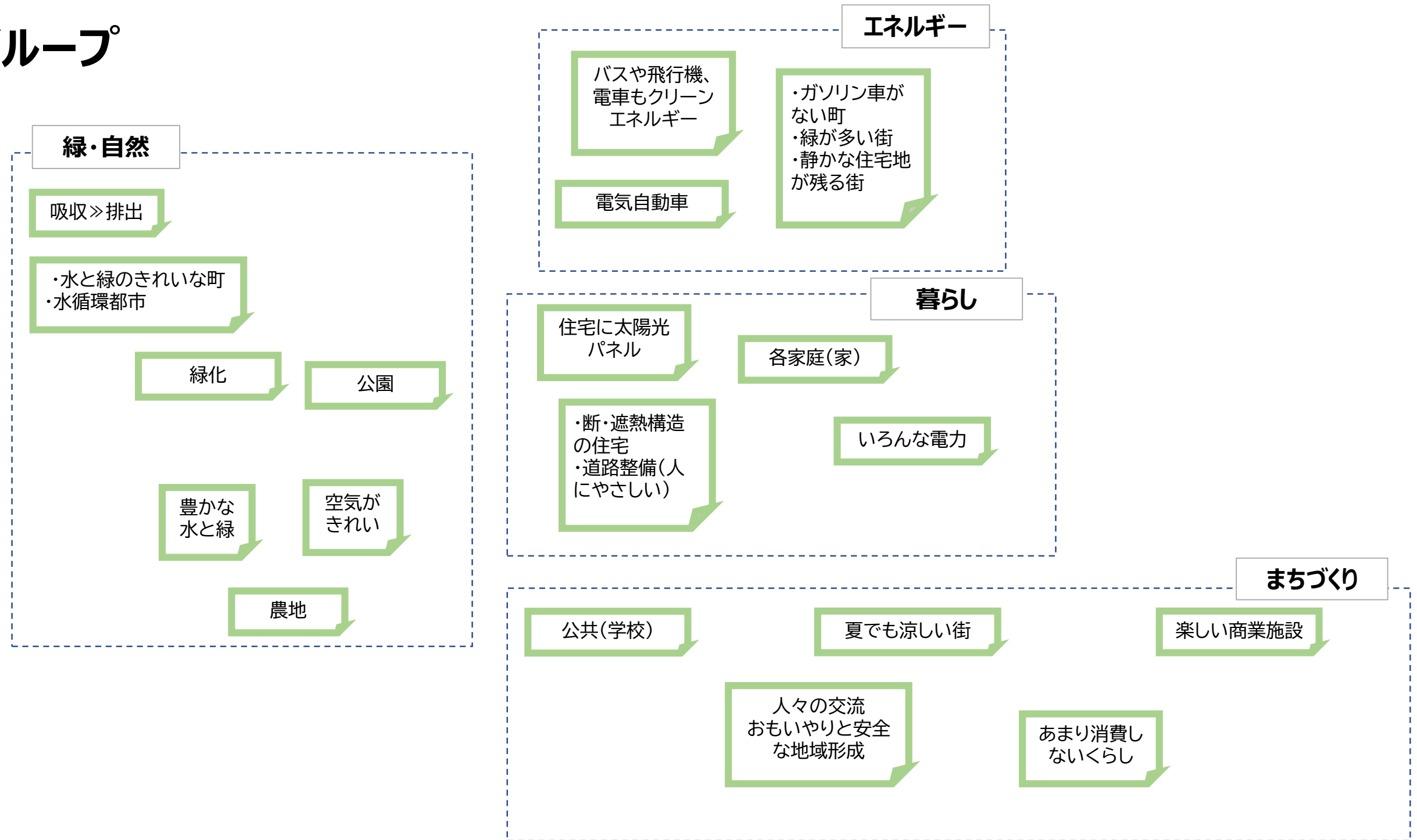
Fグループ



追加意見（会議後アンケートより）

2050年の武蔵野市は、他地域と連携して、様々な環境問題の解決策をボトムアップで提案するような街になっていたら良いと思う。

Gグループ



追加意見（会議後アンケートより）

気候変動対策は一つの市だけでは難しいので、国際社会にアピールできるような先進的な取組ができるといいのではないかと思います。

Hグループ

緑・自然が豊か

緑豊かな街、公園

夏は子どもが外で遊べる
(自然、温度〇)

良い景観をさらに良く

空気が澄んで、千川にホテルがある

緑が豊か

緑の中のゼロエネ住宅

空気が澄んでいる

エネルギーの地産地消

電気の地産地消

武蔵野市で発電(再エネ)地産地消

ごみ

ごみが少ない

サーマルリサイクル(日本だけ!)ゼロ!

意見は出てるなぜ実現しない?

関心が低い!もっと皆が関心を!

住宅・建物

家が自家発電

災害時も電気がつく家・建物

すべての住宅(戸建/マンション)の屋根に太陽光パネル

全戸に太陽光パネルがついている

再エネの補助(市政)
↓
全ての建物で再エネ発電

ゼロエネで換気の良いオフィス・店

移動

車よりもバス、自転車、そして歩き

電気自動車が走っている(ガソリン車はない)

うち水の習慣が伝えられている

公共を大切に

環境教育

政策

カーボンオフセットの先駆的な市
カーボンゼロよりオフセット

カーボン排出量で税金が決まる?!

情報公開アクセス

納得感とお得感(持続可能な)

市民の納得感
↓
行動変容

例えばプラを回収
↓
どう使うか

みんなお得

市民の納得感
↑
行政の行動変容

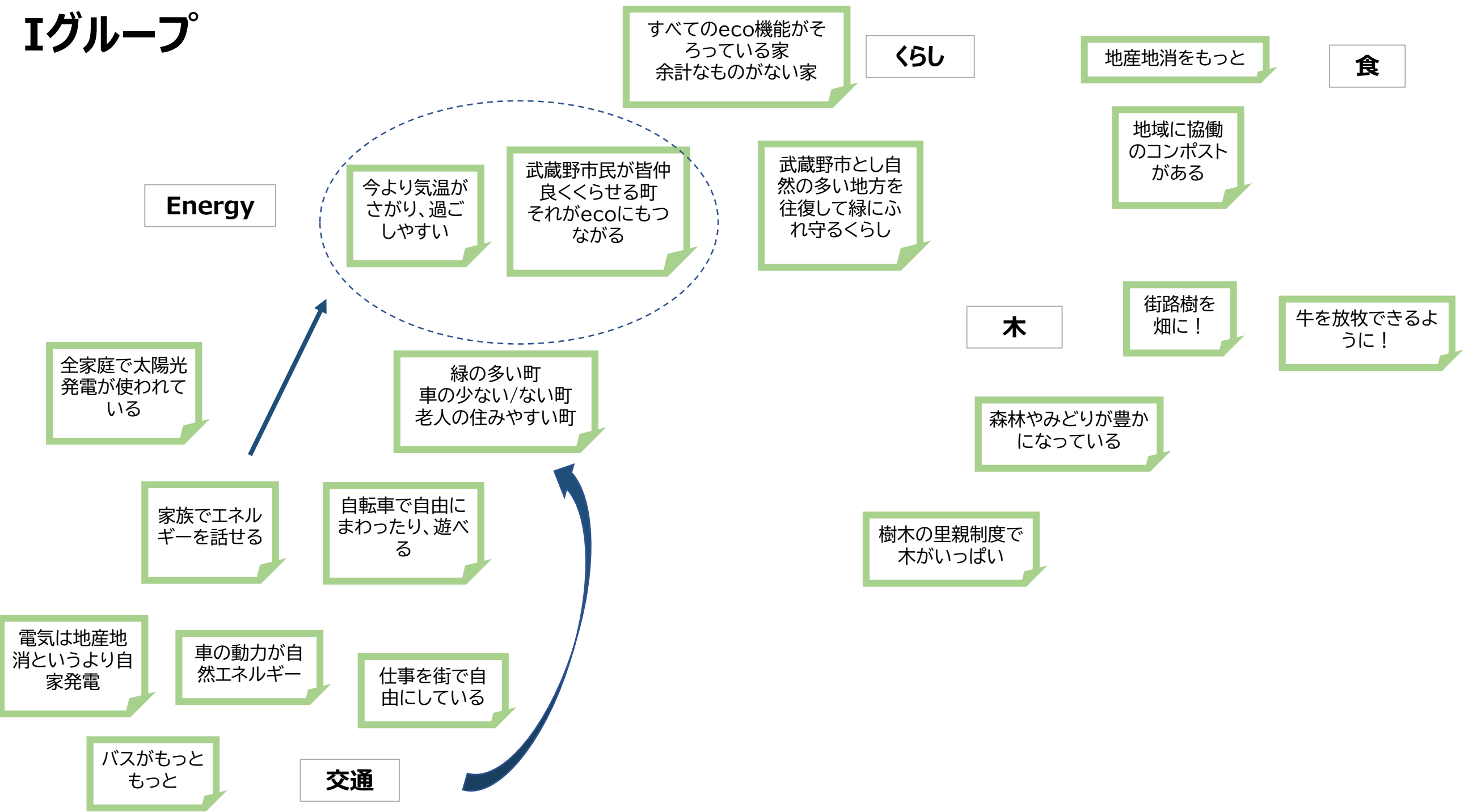
武蔵野が良い典型を創る

ライフスタイルの変化とは?

市民がたて割りに橋をかける

追加意見 (会議後アンケートより)

Iグループ



追加意見（会議後アンケートより）

森林を増やす事について、建物の敷地面積に対する森林→CO2の吸収量の規定があると良い

オンライン αグループ



緑・自然が豊か

街全体が緑に包まれている

空気がきれい

緑にあふれている。空気がよい。

クーラーのいらぬ夏が過ごせる家に住みたい。

緑の多い街したい。(公園・緑地)

街路樹、壁面、屋上の緑化

川の水質がよくなっている

植物を増やす

畑や森が今より増えている

ソーラーシェアリング(農地)

地域で生ゴミをコンポストに変えることでゴミを減らす

地産地消 (食・エネルギー)

エネルギーの自給自足ができる

なるべくエネルギーの地産地消。家庭だけでなく産業も(例えば丸井は再エネ100%)

自給力が高くなっている(食べ物)

再生可能エネルギーが家庭・街を支える。停電の懸念がない。

再エネが増える



暮らし方

子供がたくさん、自家発電、緑がたくさん、ロボット

食べ物が健康的、旧来の日本食にもどっている

みんなで資源を分けあえる

車が不要な暮らしがしたい。

マイボトルが普及し、どこでも水質のよい水を入れられる

市内の住むコストが高くならないようにしたい

少し不便でもみんなが楽しめる暮らし

買い物

買い物をするときなるべくプラごみが出ない

持続可能な商品を売るお店が増える。

スーパーなどの包装が今より環境にやさしいものになっている

情報

皆が同じ目標を共有している

一人一人の環境への意識が高まっている

知ることが大事。そして情報発信

吉祥寺の一角がエコな場所になることでブランド化

学校やコミセンで気候変動について授業

公共施設に気軽に集まれる空間が増えている

誰にとっても(世代・性別・所属に関係なく)優しい

気候変動に熱心な議員を増やす

CO2見える化

自分がどのくらいのCO2を排出しているか分かる

CO2を出すと税金がかかる

CO2を吸収するとお金が貰える

CO2を吸収してO2に変える機械

追加意見 (会議後アンケートより)

環境教育が老若男女すべての世代において浸透し、それを踏まえた生活が武蔵野市民により実践されていることが重要です。

次世代を担う子供達への環境や防災に関する教育はとても重要だと思います。自治体を中心となって、有識者や企業等と連携して、市内の小中校でそういった授業が展開できたらいいと思いました(既に実施されているかもしれませんが)

オンライン βグループ

エネルギー

- EV車の電源も再エネ
- 水素自動車メインのモビリティに
- 太陽光は当たり前
- ガソリン車を使わない移動手段が当たり前
- 道路下に発電設備
- 友好都市との連携 川上村(長野県)
- 蓄電池技術の進歩・低価格
- 電気自動車、水素エンジン車が走る街
- エネルギーの地産地消100%
- 太陽光パネルの普及(再生資源使用しつつ低価格化されているといい)
- 電力会社の選択が広がる エネルギー需要側(世帯など)の見える化

コミュニティ・暮らし・まちづくり

コミュニティ内でのカーシェア 高齢者にも優しい

- 2050年まで続くものとは?
- ネガティブイメージの払しょく
- みんながやる⇒みんながやりたくなるような、まちに良いことの仕掛け・取組(緑・花を増やすなど)
- 人・企業の流入
- 財政好調…武蔵野市としての投資(脱炭素に資する)

自然資源

- 森林の再生
- さらに緑豊かになっているといい
- 緑が増えた町になっている
- 脱炭素に向けた森林保全⇒外来種の侵入の防止

買い物

- 商品の過剰包装がされていないのが当たり前
- 制服のおさがりが足り前(以前) ⇨ファストファッション(現在)
- 衣類 長く使う人とシェアできる
- 譲りあう・助け合う・協力する
- 使わないものを次の使い手へ ロッカー?

移動(自転車)

- 並木道の整備・植生の管理
- 通勤通学のための整備
- 自然を楽しめるサイクリングロード…他地域との協働
- 移動では、自転車を使い、節電やリサイクルが当たり前な町になっていると思います
- 道路幅の拡大(徒歩、自転車で移動しやすい街)
- 吉祥寺の特徴 角が多い:走りやすさ ⇒走りたいたい!

追加意見(会議後アンケートより)

脱炭素に取り組んだことの実感が湧く仕組みを作れると継続的に取り組める気がします。

散歩や自転車利用促進のために、武蔵野市と近隣市町村のオススメ散歩道や自転車道の紹介を頂くと良いかと思えます。

単発の取組だと継続性や広がりを感じました。脱炭素のアイデア同士を関係づけることで、より発展すると感じました(例:道路幅拡幅×植栽=走りたくなる自転車道)。

脱炭素の取組を行う上で、ビジネスのテンプレートを活用することで持続性や広がりが生まれやすくなると思います(例:マーケットイン、収益性を考える)